

池原昭治と ファンタジーの世界展

Sayama Fantasy

とっても良い
天気だなァ

今日のごはんは
なにかな?

冬のまいまい体験講座

企画展開催中の毎週日曜日に季節の
イベントに合わせたキラキラ工作を開催
※12月27日・1月3日は休講

同時開催

公募展

みんなの
アンデルセン展

12月5日(土)～3月8日(火)

開館時間: 午前9:00～午後5:00 (入場は16:30まで)

休館日: 毎週月曜日、第4金曜日、12月27日(日)～1月4日(月)

※1月11日(月)は開館

さやましりつはくぶつかん
狭山市立博物館

〒350-1324 埼玉県狭山市稲荷山1-23-1
TEL:04(2955)3804 FAX:04(2955)3811
<http://sayama-city-museum.com>

協力:池原昭治・アンデルセンジャパン ※一部内容を変更する場合があります。※ご来館は電車・バスのご利用が便利です。

指定管理者 ACTIO アクティオ株式会社

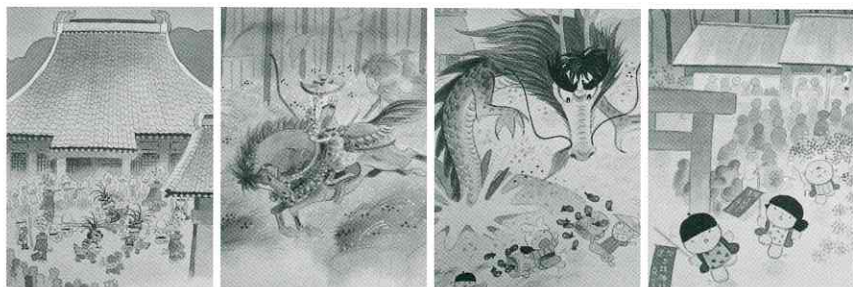
池原昭治とファンタジーの世界展

Sayama Fantasy

はじめに

狭山市在住の童絵作家・池原昭治氏の作品を通して、ファンタジーとメルヘンの世界を楽しんで頂きたいと思います。狭山の四季をはじめ、子どもの遊び風景や季節ごとの行事など童絵を鑑賞しながら五感を使って楽しめます。ぜひ、この機会に狭山の伝統や文化を思う存分感じて頂きたいと思います。

また、別会場では、公募展「みんなのアンデルセン展」も同時開催しています。公募された作家さんたちが創り出す新しいアンデルセンの世界をご覧いただき、あなたが気に入った作品をひとつ選んで投票してください。得票総数が一番多い作品が見事グランプリになります。お気軽に投票してください。



池原昭治プロフィール

香川県高松生まれ、狭山市在住。
日本各地の民話を訪ね歩き「童絵」という独自の画風を確立。狭山市の民話なども多く掘り起し、地域活動にも参加している。1982年テレビ「まんが日本昔ばなし」の演出、作画、美術を担当。

童句コーナー

狭山市は童句の発祥地です。今回は、童絵を鑑賞しながら童句をつくる講座を開催するほか、童話作家「つちやゆきお」(故人)の関連資料も併せて展示致します。

※童句とは、子どもの頃の純真な心に立ち還ってつくる俳句のことです。

平成28年2月21日(日)「童句のお話会(狭山と童句)」
講師:廣澤謙一氏 13:30～15:00 **入場無料**

民話ファンタジーショー

狭山を中心とした民話を音楽と合わせてお話します。
企画展開催中の毎週日曜日(12月27日、1月3日はお休み)
13:30～14:00

公募展

みんなのアンデルセン展

公募された作家さんの素敵な作品が一堂に展示され、アンデルセン童話の世界が新しいファンタジーの世界となって登場します。これらの参加作品の中であなたのお気に入りをお選び投票してください。これは皆様で創る企画展です。

冬のまいまい体験講座

企画展中の毎週日曜日
(年末年始を除く)

バタバタ アニメ	シェード ランプ	スノー ドーム	おきあがり こぼし	ころころ アニマル	どんぐり クリップ	キラキラ 砂絵 <small>※冬限定バージョン</small>	キラキラ 木製ホルダー <small>※冬限定バージョン</small>
12/6・1/31	12/13	12/20	1/10・2/21	1/17・2/28	1/24・3/6	2/7	2/14
レバーを引くと2枚の絵がアニメのように動きます。	暗いところでキャンドルライトをつけると暖かい光が灯ります。	クリスタルキャラクターの入ったスノードームを作ります。	お正月にぴったりに縁起の良いおきあがりこぼしをつくりまします。	坂をころころ転がってピタッと止まるかわいく動物の工作です。	どんぐりかわいくアレンジしてオリジナルのクリップを作ります。	夏に大人気だった砂絵がキラキラになって戻ってきました!	夏に大人気だった木製ホルダーがキラキラになって戻ってきました!

時間 14:00～15:00 費用 200円 定員 各回40名 ※事前予約不要

さるの絵付け体験

日程 1月の毎週日曜日(1月3日は除く) 時間 13:00～13:30

費用 200円 定員 各回40名 ※事前予約不要

※写真はイメージです。※都合により内容が変更する場合があります。



- 西部池袋線「稲荷山公園駅」より徒歩3分
- 西部新宿線「狭山市駅」西口よりバス「稲荷山公園駅行」終点で下車、徒歩3分
- 圏央道狭山日高インターより車で15分